

3. 医療・臨床研究情報の発信

(1) トランスレーショナルリサーチに関する情報発信

医師や研究者が TR を実施するための情報整備が引き続き進行中です。そうして蓄積した情報を研究者等に還元するため、ウェブサイトや集会をプラットフォームとする情報発信を行ってきました。これらの一連の活動を通じ、TR を進める上での今後の方向性が明らかになりつつあります。

i) ウェブサイト

平成 14 年度から TR の情報発信の基盤の整備を開始し、医師や研究者が TR を実施する上で必要な情報を当センターのウェブサイト (<http://www.tri-kobe.org/index.html>) を通じて配信してきました。また、当センターで支援している「がんトランスレーショナルリサーチ事業」(<http://www.ctrp.mext.go.jp/>)と「橋渡し研究支援推進プログラム」(<http://www.tr.mext.go.jp/>)についてもウェブサイトを開設し、国民と研究者に広く情報を提供しています。

ii) トランスレーショナルリサーチ研修会

TR にかかる情報収集を通じて蓄積したノウハウを広く研究者に還元するため、既に述べたように、過去 6 回の「トランスレーショナルリサーチ研修会」を開催しました（第 1 回：TR とは？TR の統計学的方法論、第 2 回：補償・賠償・保険医療の範囲、血管再生 TR、第 3 回：TR を成功に導くための基盤、第 4 回：TR の成功確率を高める一開発型医師主導治験へのステップアップ、第 5 回：TR からクリティカルパスリサーチへ、第 6 回：TR の戦略的拠点整備）。

iii) がんトランスレーショナルリサーチ事業成果報告会

本事業の概要を研究者に公開し、研究者間での情報交換を促進するため、当センターでこれまでに 4 回の成果報告会を開催しました。それらの報告会では、当センターから本事業の全体的な進捗状況を報告するとともに、各課題でターゲットとする試験物の開発計画とその進捗状況、特許取得状況、臨床試験進捗状況等について公開可能な範囲において発表がなされました。

iv) がんトランスレーショナルリサーチ事業市民公開講座

がん領域の TR に関する一般市民の理解を高めるため、当センターでこれまでに 3 回の市民公開講座を開催しました。各公開講座では、「がんトランスレーショナルリサーチ事業」の課題の中から臨床応用が見えてきたものを選び、その概要を平易な言葉で市民に説明しました。また、がんに関する知識と標準治療の普及のため、当センターが運営する「がん情報サイト」(<http://cancerinfo.tri-kobe.org/>)についても公開講座の中で紹介し、がんに関する最新かつ信頼できる情報の入手方法を市民に周知しました。

v) 橋渡し研究支援推進プログラム成果報告会

本プログラムに関する国民と研究者の理解を深めることを目的に、平成 20 年 3 月に本プログラムの成果報告会を開催しました。この第 1 回成果報告会では、各拠点における TR 支援基盤の整備状況について発表がなされ、開発中のシーズについても言及がなされました。

(2) 臨床試験の国際登録

わが国のがん臨床試験情報を世界に発信するため、当センターで支援するがん臨床試験の概略を英語化し、米国 PDQ®サイトに登録・掲載しています。また、当センターは平成 18 年 2 月より NCI のリエゾンオフィスとして正式に承認されており、当センターで審査・承認されたがん臨床試験については、米国での再審査を受けることなく NCI 番号が付与されます。なお、がん領域以外の臨床試験については、ClinicalTrials.gov への登録を推奨しています。

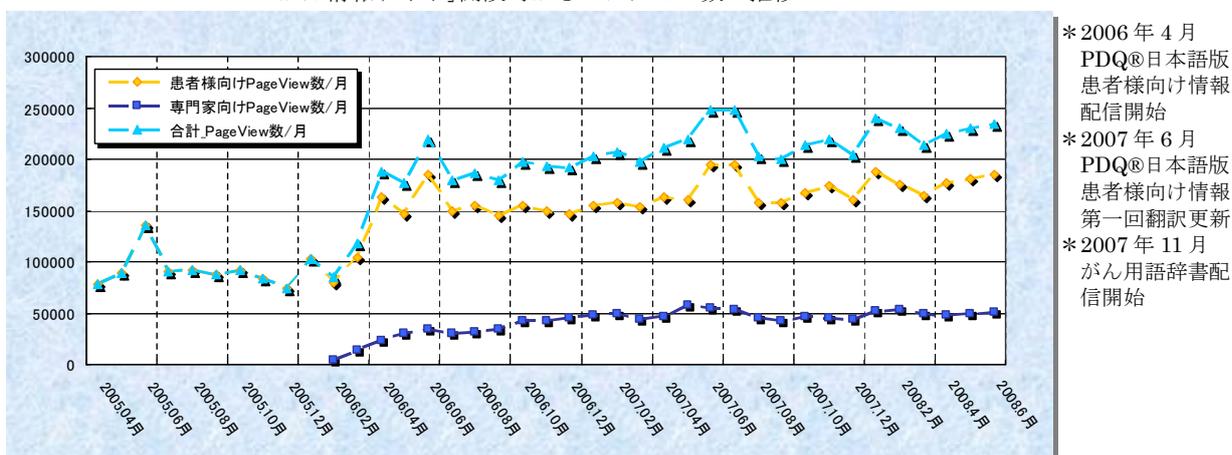
(3) 「がん情報サイト」の立ち上げと運営

難治性疾病の治療成績向上には、標準治療の普及と state-of-the-art の達成が前提となります。そこで、米国国立がん研究所 (NCI) が全世界にウェブ配信する、最新のがん情報を網羅する世界最大かつ最高品質のデータベース PDQ® (Physician Data Query: 医師向けがん専門最新情報) の完全な翻訳を実施し、本「がん情報サイト」から配信しています。また、「がん情報サイト」では翻訳の更新を月次で行っており、正式な PDQ®サイトとして NCI にも承認されています。

更に、本サイトには、当センターのオリジナルコンテンツとして、がん種別のがん標準治療薬や支持療法薬に関するデータベースを公開し、本邦未承認や保険適応外で使用できない薬剤を含めた情報収集が可能になっています。

また、平成 18 年 4 月に PDQ®の患者向け情報の翻訳配信をスタートし、NCI が提供する最新のがん情報をイラストとともに平易な日本語でウェブ上に掲載しています。加えて、平成 19 年度には翻訳を更新するとともに、4000 語に及ぶがんの専門用語を検索できる「がん用語辞書」を公開し、一般国民へのがんに関する知識のより広い普及に役立てています。更に、平成 18 年に制定されたがん対策基本法に基づいて指定された全国の 351 のがん診療連携拠点病院に「がん情報サイト」のパンフレットを送付し、情報を必要としている方々へのサイトの周知に努めています。本サイトを通じて、医療の専門家だけでなく、多くの一般市民もがん治療についての最新情報を広く収集することが可能になりました。本サイトが、がん医療に関する国民の知識の向上と標準治療の普及の一助となることを期待しています。

「がん情報サイト」開設時からのアクセス数の推移



(4) 開催会議、出版物

主な開催会議

- ◎ トランスレーショナルリサーチ研修会（主催）
 - 第1回：平成15年7月26日 臨床研究情報センター
テーマ：TRとは？、TRの統計学的方法論
 - 第2回：平成16年2月28日 臨床研究情報センター
テーマ：補償・賠償・保健医療の範囲、血管再生TR
 - 第3回：平成17年3月4日 臨床研究情報センター
テーマ：TRを成功に導くための基盤
 - 第4回：平成18年3月3日 臨床研究情報センター
テーマ：TRの成功確率を高めるー開発型医師主導治験へのステップアップ
 - 第5回：平成19年3月2日 臨床研究情報センター
テーマ：トランスレーショナルリサーチ（TR）からクリティカルパスリサーチへ
 - 第6回：平成20年3月8日 臨床研究情報センター
テーマ：トランスレーショナルリサーチ（TR）の戦略的拠点整備

- ◎ がんトランスレーショナルリサーチ事業 成果報告会（主催）
 - 第1回：平成17年3月4日 臨床研究情報センター
 - 第2回：平成18年3月3日 臨床研究情報センター
 - 第3回：平成19年3月4日 臨床研究情報センター
 - 第4回：平成20年3月8日 臨床研究情報センター

- ◎ がんトランスレーショナルリサーチ事業 市民公開講座（主催）
 - 第1回：平成18年3月3日 神戸国際会館
 - 第2回：平成19年3月3日 臨床研究情報センター
 - 第3回：平成20年3月7日 臨床研究情報センター

- ◎ がんトランスレーショナルリサーチ事業 製薬協向け課題説明会（主催）
 - 平成18年3月27日 丸ビル

- ◎ 橋渡し研究支援推進プログラム成果報告会（主催）
 - 第1回：平成20年3月15日 東京国際フォーラム

- ◎ 血管再生療法・コンセンサス会議（共催）
 - 第1回：平成17年3月18日 ヨコハマグランドインターナショナルコンチネンタルホテル
 - 第2回：平成19年11月17日 ホテルグランビア京都

- ◎ がん制圧をめざす市民公開シンポジウム（主催）
 - 平成17年8月28日 パシフィコ横浜

◎ US-Japan Biostatistics Workshop (共催)

第1回：平成15年9月26日 臨床研究情報センター(神戸)

第2回：平成16年9月23-24日 Benaroya Research Institute (シアトル)

第3回：平成17年10月7日 京都大学医学部(京都)

◎ 第1回アルツハイマー病シンポジウム(共催)

平成17年11月3日 長寿医療研究所

主なウェブサイト



臨床研究情報センター 研究事業
<http://www.tri-kobe.org/DCTM/>



がんトランスレーショナルリサーチ事業
<http://www.ctrp.mext.go.jp/>



がん情報サイト
<http://cancerinfo.tri-kobe.org/>



橋渡し研究支援推進プログラム
<http://www.tr.mext.go.jp/index.html>

主な出版物

- 📖 トランスレーショナルリサーチ研修会 資料集 (第1～6集)
- 📖 臨床研究・臨床試験業績報告書 (第1～6集)
- 📖 がんトランスレーショナルリサーチ事業 第3回成果報告会 抄録およびプレゼンテーション資料 (第1～4集)
- 📖 橋渡し研究支援推進プログラム 平成19年度 成果報告会 抄録集 (第1集)
- 📖 血管再生療法コンセンサス会議 プログラム・資料集 (第1、2集)
- 📖 PDQ®日本語版(専門家向け) 支持療法ブックレット

2008年1月現在のPDQ®支持療法上記25項目のうち、日常に遭遇する問題についての9項目(*)をまず冊子化しました。本年8月よりPDQ®がん情報全ての項目について、注文に応じて実費で配布するサービスを開始しました。

- | | |
|-----------------------------|--------------------------------|
| 1. 移行期のケア計画* | 13. 心肺症候群 |
| 2. 疼痛* | 14. 人生最後の数日間～数時間* |
| 3. うつ病 | 15. 正常な適応と適応障害* |
| 4. 化学療法と頭頸部放射線療法の
口腔合併症* | 16. 性的能力(セクシャリティー)
および生殖の問題 |
| 5. 癌医療における栄養 | 17. 喪失、悲嘆、死別 |
| 6. 癌医療における霊性* | 18. そう痒症 |
| 7. 癌患者における禁煙と
継続するリスク | 19. 吐き気と嘔吐* |
| 8. 癌における物質乱用の問題 | 20. 疲労 |
| 9. 睡眠障害* | 21. 認知障害およびせん妄 |
| 10. 高カルシウム血症 | 22. 発熱、発汗、ほてり |
| 11. 消化管の合併症 | 23. 不安障害* |
| 12. 心的外傷後ストレス障害 | 24. リンパ浮腫 |
| | 25. 小児の支持療法 |

